

開発思想の系譜

社会資本の変遷から『成長の限界』の本質を考える

⇒【持続可能な開発】は可能なのか？

2019年12月21日(土)

鳴尾 眞二

報告資料の目次

問題意識の所在

問題提起: 開発と発展(成長)の関係

1 国の開発計画

1-1. 国の 開発計画(国防、産業・経済、国土、地域開発)の推移

1-2. 全国総合開発計画の系譜

1-3. 総合政策関連図(国土計画、地域計画を取りまく政策環境分析)

1-4. 開発⇒公共投資⇒社会資本形成⇒経済成長

2. 社会資本

2-1. “社会資本(ソーシャル・キャピタル)”とは何か? ———1

2-2. 新国富指標から持続可能な開発を考える

2-3. もうひとつの“社会資本(ソーシャル・キャピタル)” ———2

2-4. 新たな社会資本(ソーシャル・キャピタル)の全体図

2-5. 社会資本(ソーシャル・キャピタル)の変遷——軸となる社会関係のシフト

2-6. 社会資本(ソーシャル・キャピタル)の軸がシフトした原因—生産人口vs. 従属人口

2-7. 社会・福祉活動を支える社会関係資本——共助

3. 持続可能な開発とは?

3-1. 開発の質的転換: 経済成長志向の産業開発から調和のとれた社会開発へ

3-2. 従来型成長モデルから新しい社会発展モデルへ

3-3. 考えるヒント: 持続可能な開発に向けての様々な取り組み

- 参考例1. 技術活用の方向性、
- 参考例2. 近代とポスト近代の力学——近代を超越するには、何が必要なのか?
- 参考例3. 社会関係資本の在り方: 公助—共助—自助
- 参考例4. 新国富論の概念

問題意識の所在

豊かさ、便利さ、効率を追求した近代の軌跡

- 開発とは？
- 産業構造の高度化と人口移動(都市集中、農村社会の過疎化)
- 大衆消費社会がもたらしたもの
- 耐久消費財の功罪
- 真の豊かさとは何か
- 価値観の転換(成長から成熟へ、競争から共創へ、市場経済を超えて、安心安全の社会)

技術・エネルギー開発

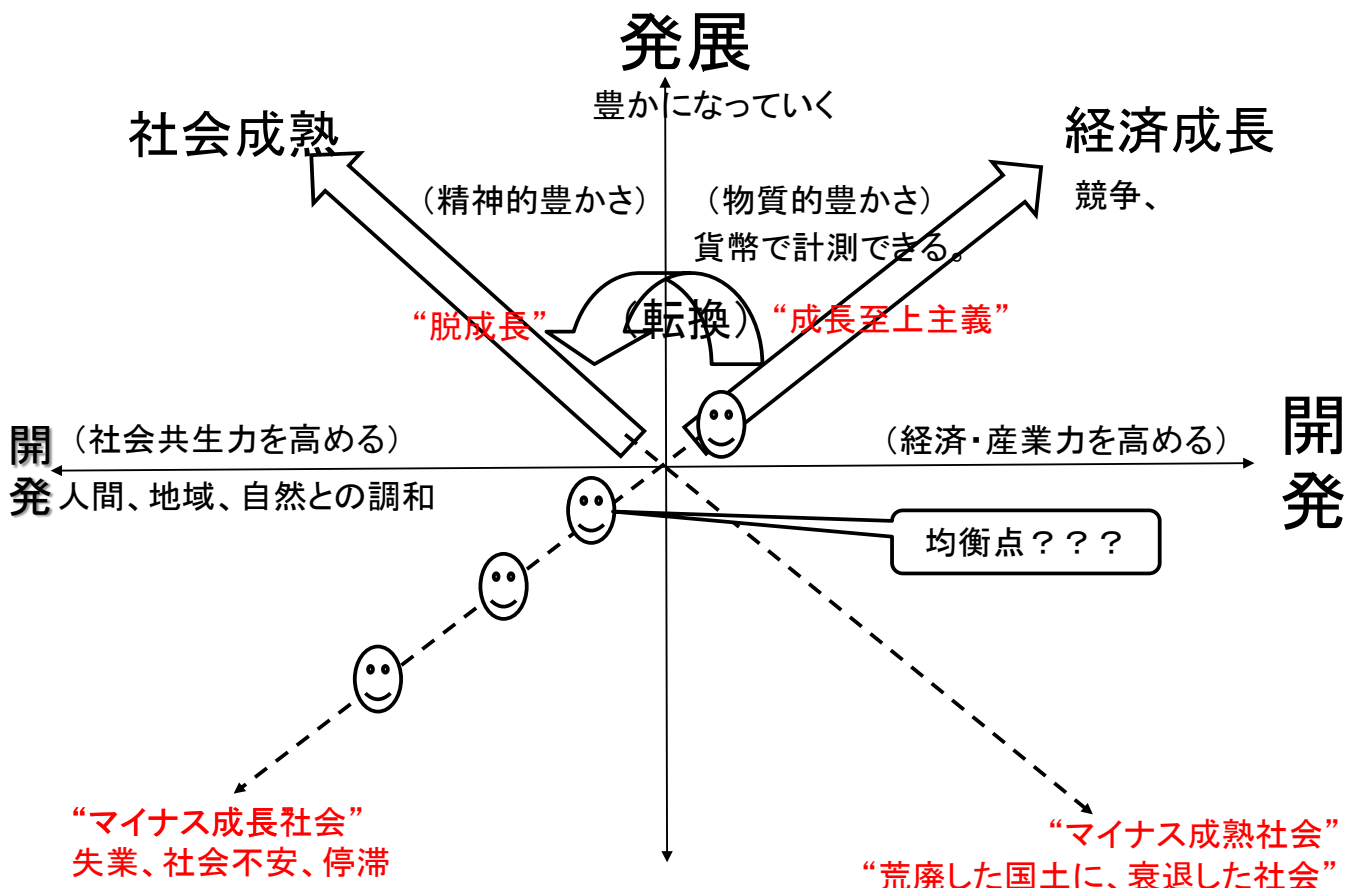
- エネルギー転換の歴史とエネルギー自治
- 技術の適用形態(巨大集中から分散技術への転換)
- 産業社会の変化(地球環境に訴求した事業戦略)
- デジタル社会がもたらす可能性の出現
- 近代を乗り越える力 vs. 近代のおしとどめる力⇒ポスト近代社会を構築するために

開発思想の大転換

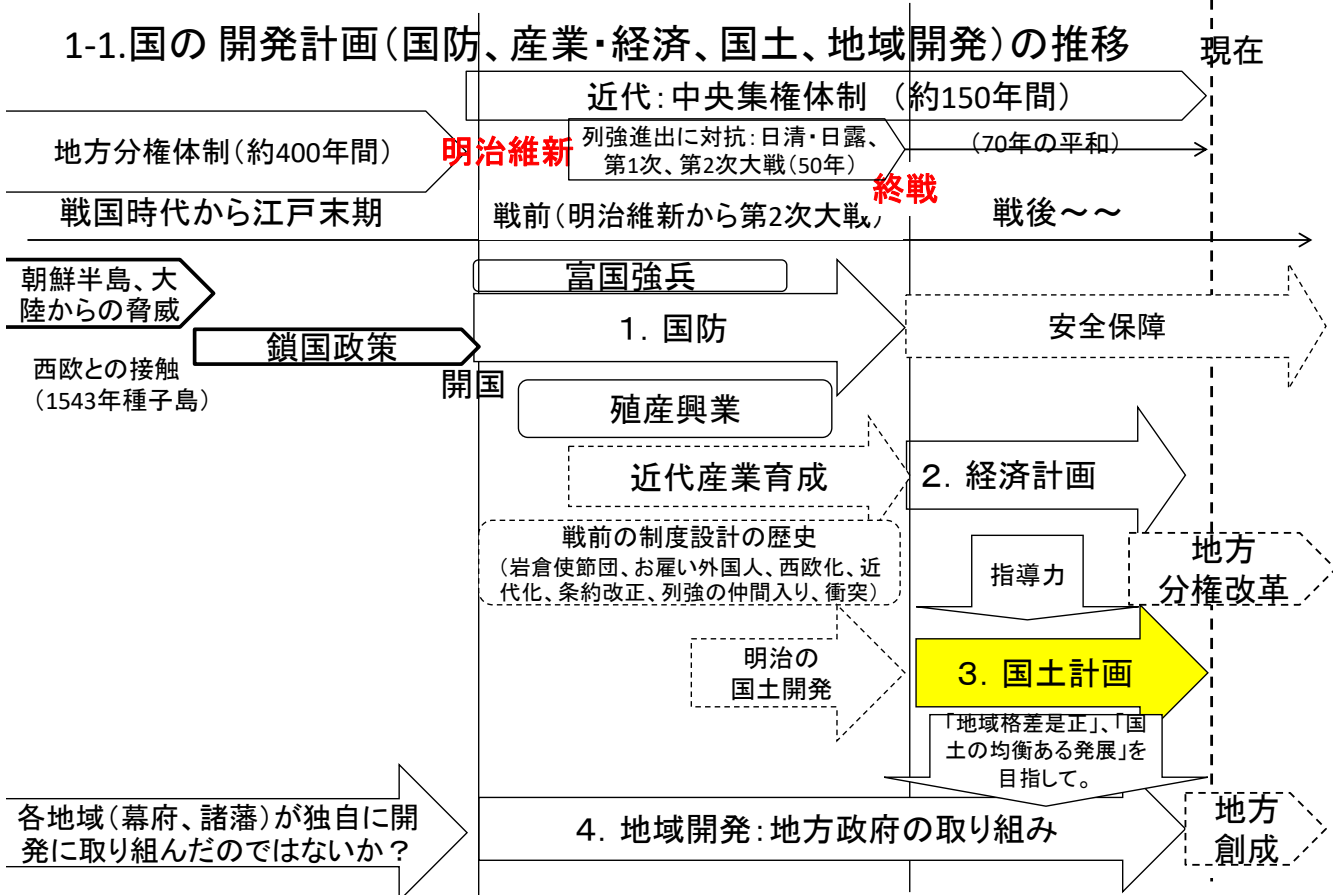
- 国土計画—地域開発—地域再生—地域創成
- 地域の社会関係資本(Social Capital)形成
- 「持続可能な開発」は定義可能なのか？

3

問題提起: 開発と発展(成長)の関係



1. 国の開発計画

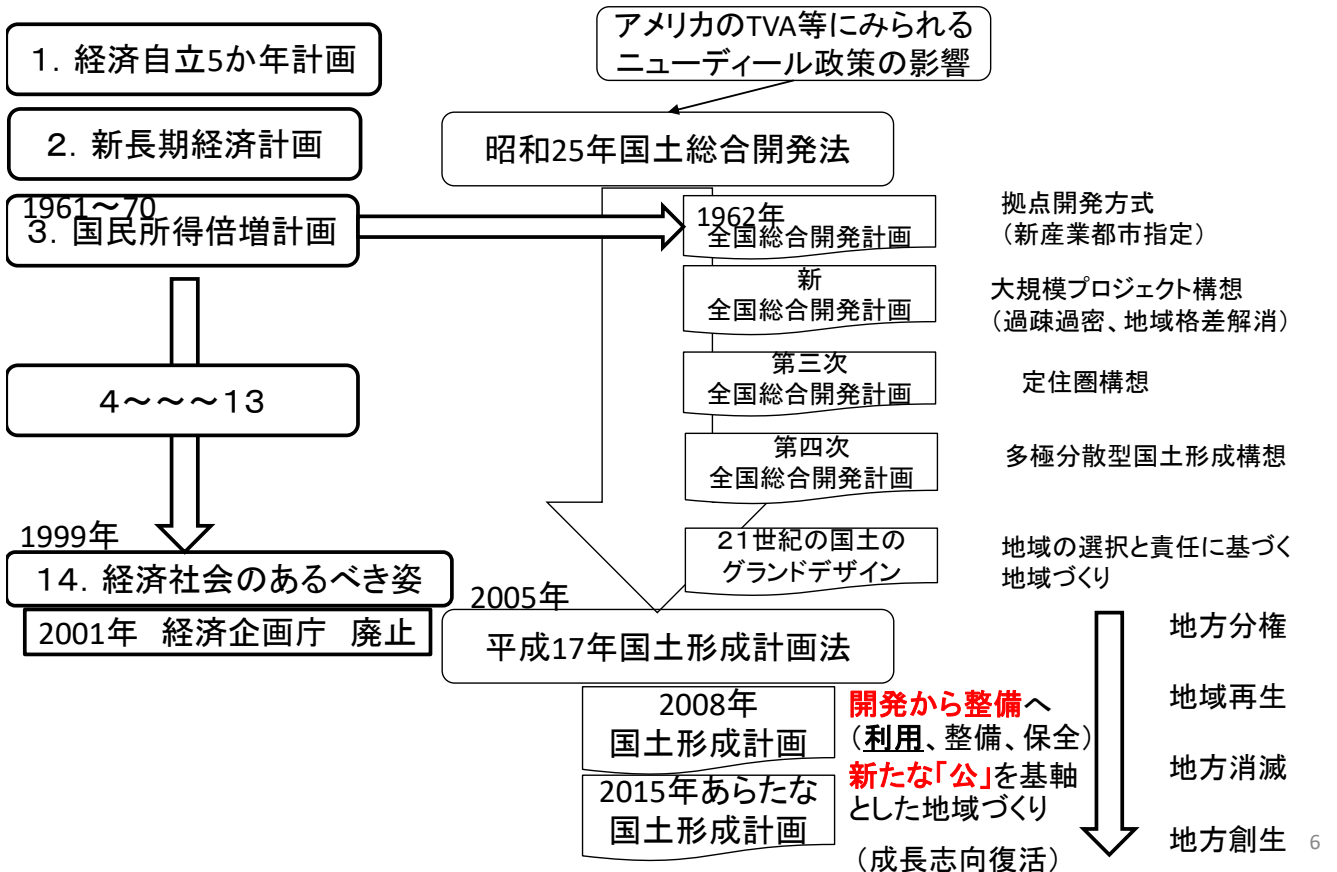


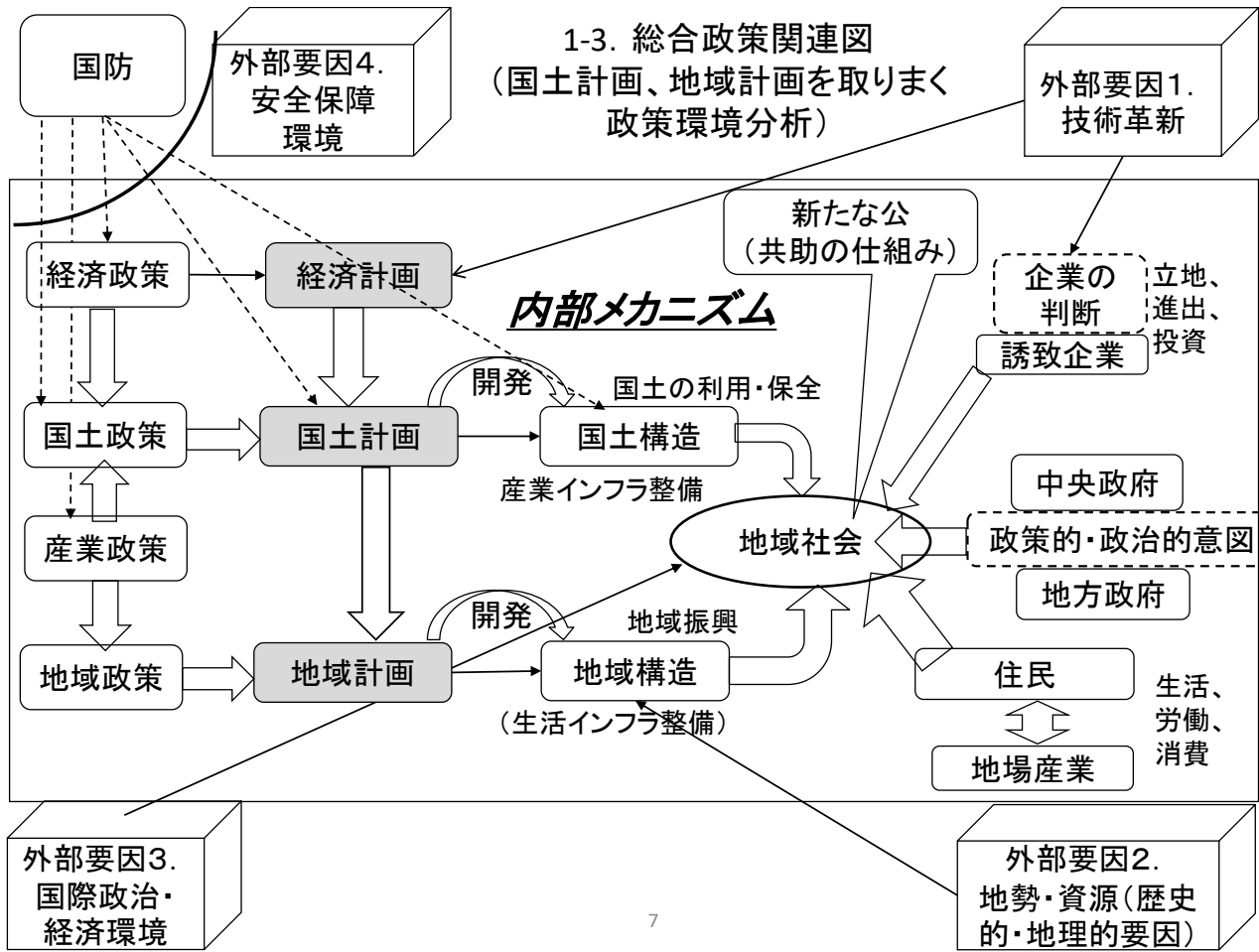
1-2. 全国総合開発計画の系譜

(経済計画の系譜)

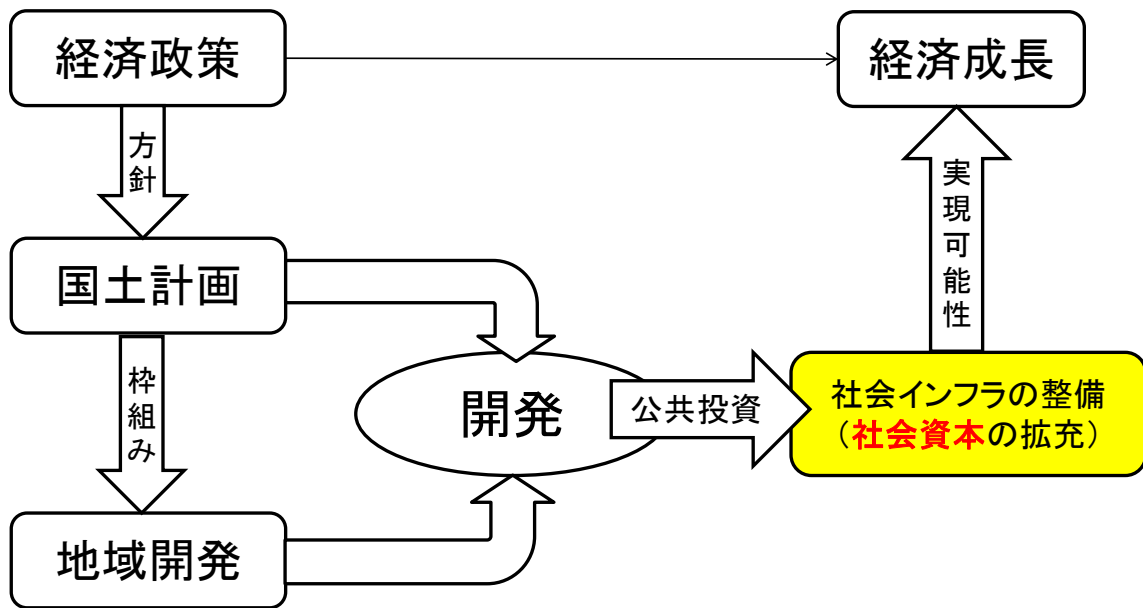
(国土計画の系譜)

(地域開発の視点から)





1-4. 開発⇒公共投資⇒社会資本形成⇒経済成長



2. 社会資本

2-1. “社会資本(ソーシャル・キャピタル)”とは何か? — — — 1

1. 社会的インフラストラクチャーとして社会資本をとらえる

『社会資本の未来』社会資本整備研究会、1999年

1960年の『国民所得倍増計画』では、公共投資をその機能によって1)産業基盤(道路、港湾、農林水産)、2)民生安定(住宅、環境衛生、厚生福祉)、3)国土保全及びその他の投資に分類。

定義:「私的動機にゆだねると著しくその供給が不足する資本。ここにいう資本とは、公共事業の対象となっている固定資本であり、人工物に限定される。制度、人的資本、知識、自然などは対象とされない。」

2. 社会的共通資本として社会資本をとらえる

『社会的共通資本』宇沢弘文、2000年

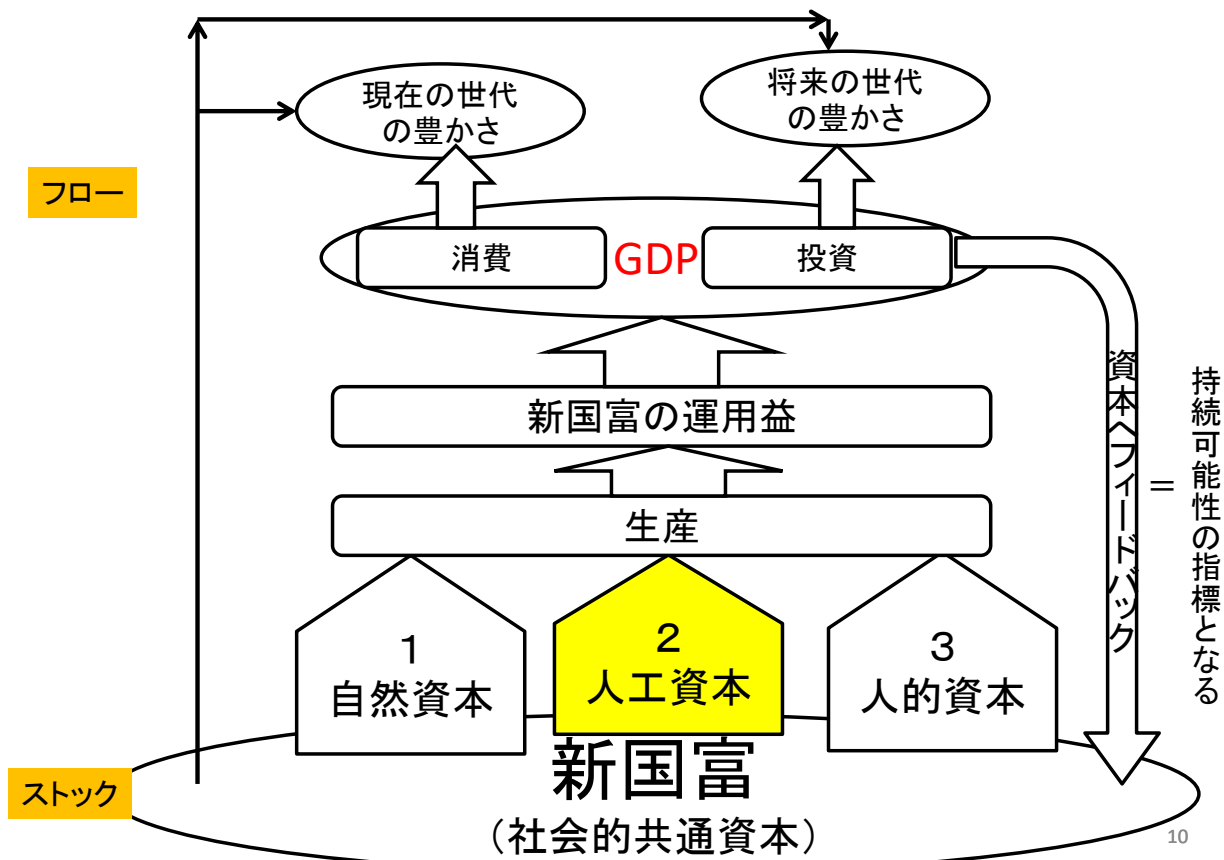
定義:「すべての人が豊かな経済生活を営み、優れた文化を展開し、魅力ある社会を維持するための「社会的装置」社会的装置としての3つの構成

- 1) 自然環境、
- 2) 社会的インフラストラクチャー、
- 3) 制度資本(教育、医療、金融、司法)

3. 新国富計算:2012年「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」で「新国富報告書(Inclusive Wealth Report)2012」が公表された。その内容は3つの資本群(自然資本、人工資本、人的資本)で構成され、「現在を生きる我々、そして将来の世代が得るであろう福祉(Well-being)を生み出す、社会が保有する富の金銭的価値を指標化する」ものである。

尚、新国富の計算方法はそれぞれの資本群の資本項目の資本単位にシャドウプライス(潜在資本価格)を掛けて試算する。⁹

2-2. 新国富指標から持続可能な開発を考える



2-3. もうひとつの“社会資本(ソーシャル・キャピタル)” — — — 2

4. 社会関係資本として社会資本(ソーシャル・キャピタル)をとらえる

『哲学する民主主義』R.パットナム、1993年、『孤独なボーリング』R.パットナム、2000年

定義「ソーシャル・キャピタルとは、人々の協調行動を活発にすることによって社会の効率を改善できる、信頼、規範、ネットワークといった社会組織の特徴」

(ソーシャル・キャピタル研究の歴史的経緯)

1916年: アメリカの教育学者ハニファンが学校のコミュニティーにおける共感、交流をSCとして取り上げた。

1961年: アメリカのジャーナリスト ジェイコブズが『アメリカの大都市の死と生』で都市部の社会的ネットワークをSCとして。

1988年: アメリカの社会学者コールマンがSCを個人が協調行動を起こすメカニズム(信頼、互酬性の規範、社会的ネットワーク)を説明。

1993年: アメリカの政治学者パットナムが『哲学する民主主義』で南北イタリアの地方政府の制度パフォーマンスの違いに関して、SC(信頼、規範、ネットワーク)から説明。

2000年以降:

OECD, 世銀等の国際機関、及び各国政府レベルでも研究テーマとして取り上げられ、日本でも学術レベルの研究が進む。JICAも政策・事業へのインプリケーションのレベルで研究。

11

2-4. 新たな社会資本(ソーシャル・キャピタル)の全体図

1972年、ブータン国:

1. 心理的幸福、2. 健康、3. 教育、4. 文化、5. 環境、6. コミュニティー、7. 良い統治、8. 生活水準、9. 自分の時間の使い方の9つの構成要素

1758年、ケネーの経済表、

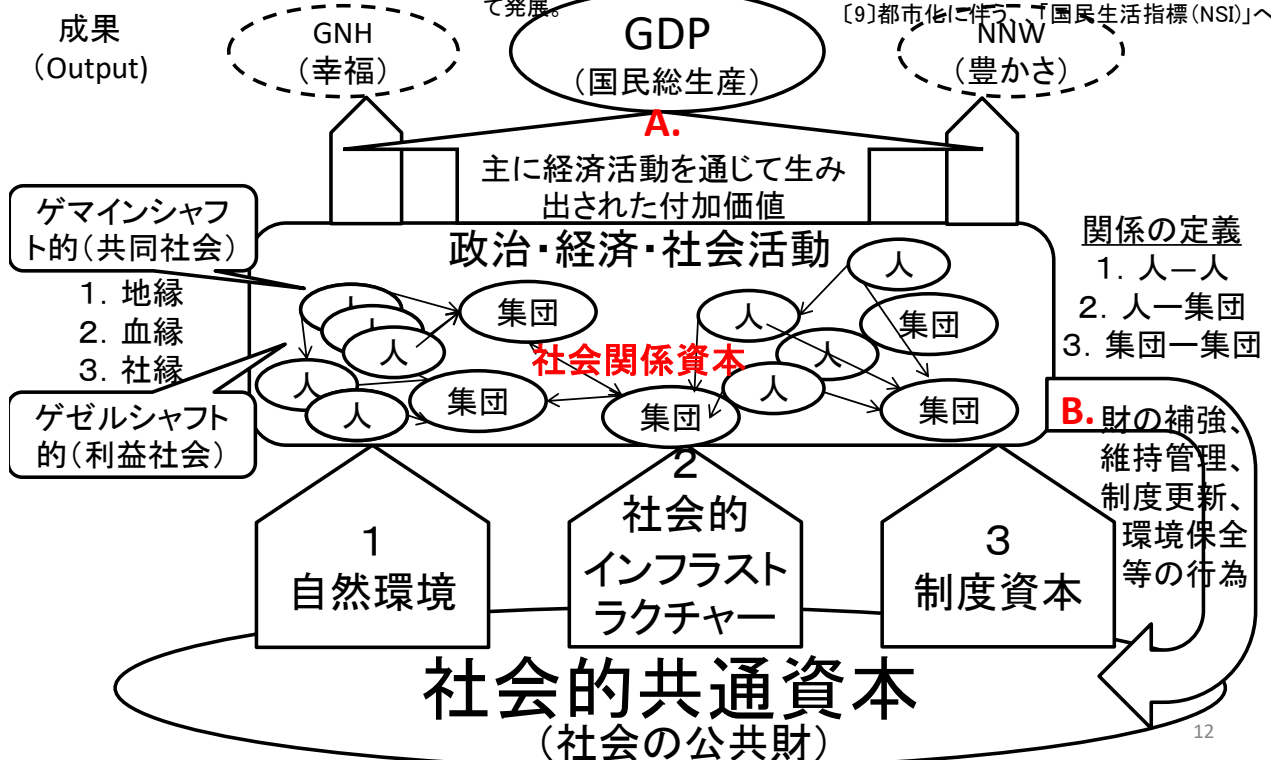
1936年、ケインズの一般理論、

1953年、国連のSNA

1年間の経済活動と経済取引を会計形式で経済循環を示す統計として発展。

1973年、経済審議会NNW開発委員会編『新しい福祉指標』:

[1]NNW政府消費、[2]NNW個人消費、[3]生活関連社会資本、[4]個人耐久消費財サービス、[5]余暇時間、[6]市場外活動[7]環境維持経費、[8]環境汚染、[9]都市化に伴う「国民生活指標(NSI)」へ

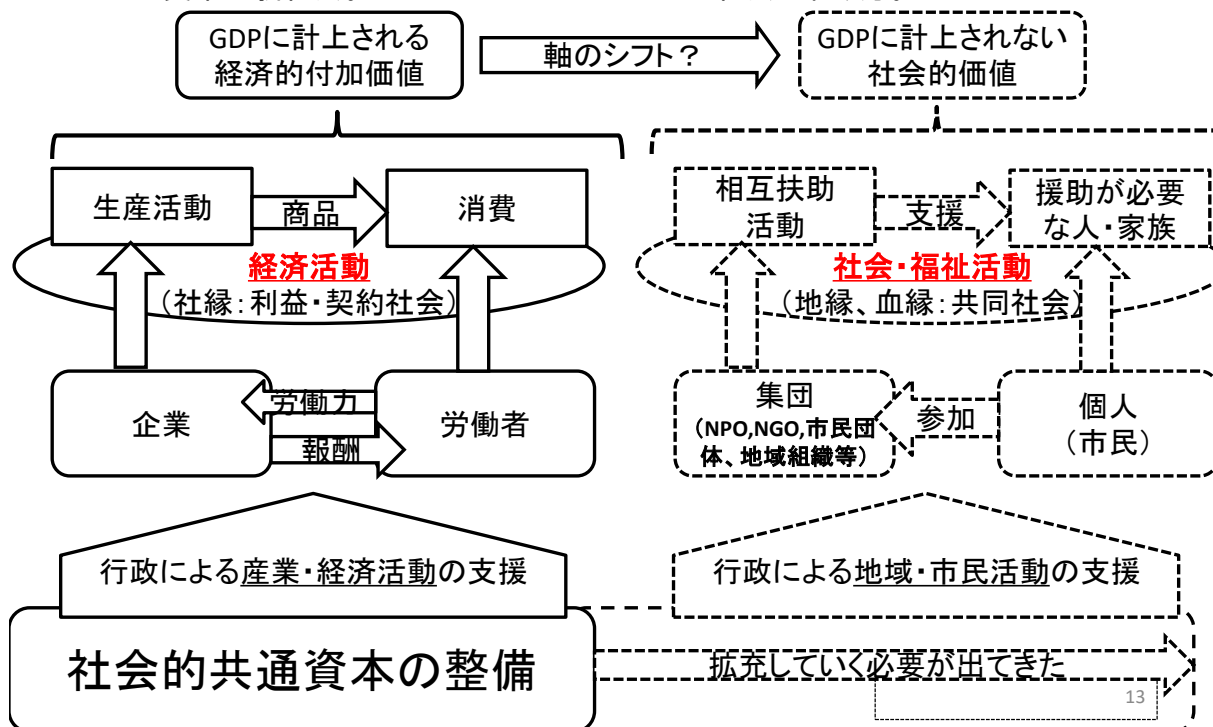


12

2-5. 社会資本(ソーシャル・キャピタル)の変遷一軸となる社会関係のシフト

産業革命以来、20世紀後半まで、物質文明、大衆消費社会を牽引した資本主義社会。

20世紀後半、近代社会の行き詰まりの中で、人類が模索し始めた新たな社会の在り方。



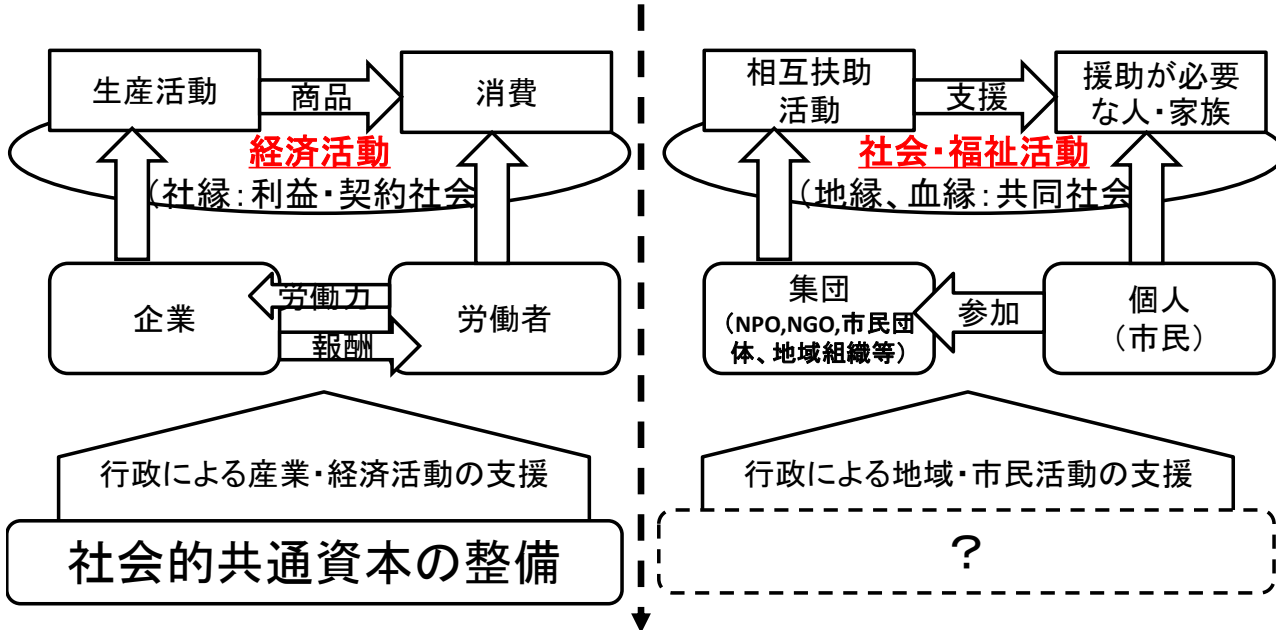
2-6. 社会資本(ソーシャル・キャピタル)の軸がシフトした原因—生産人口vs. 従属人口

	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳~)
1930	37 %	59 %	4 %
1960	30	64	6
1965	26	68	6
1970	24	69	7
1975	24	68	8
1980	24	67	9
1985	22	68	10
1990	18	70	12
1995	16	69	15
2003	14	67	19
2025	12	60	29
2050	11	54	36

総務省統計局『国税調査報告』による。2003年のみ、『労働力調査年報』より。2025, 2050年は推計値。

高度成長期

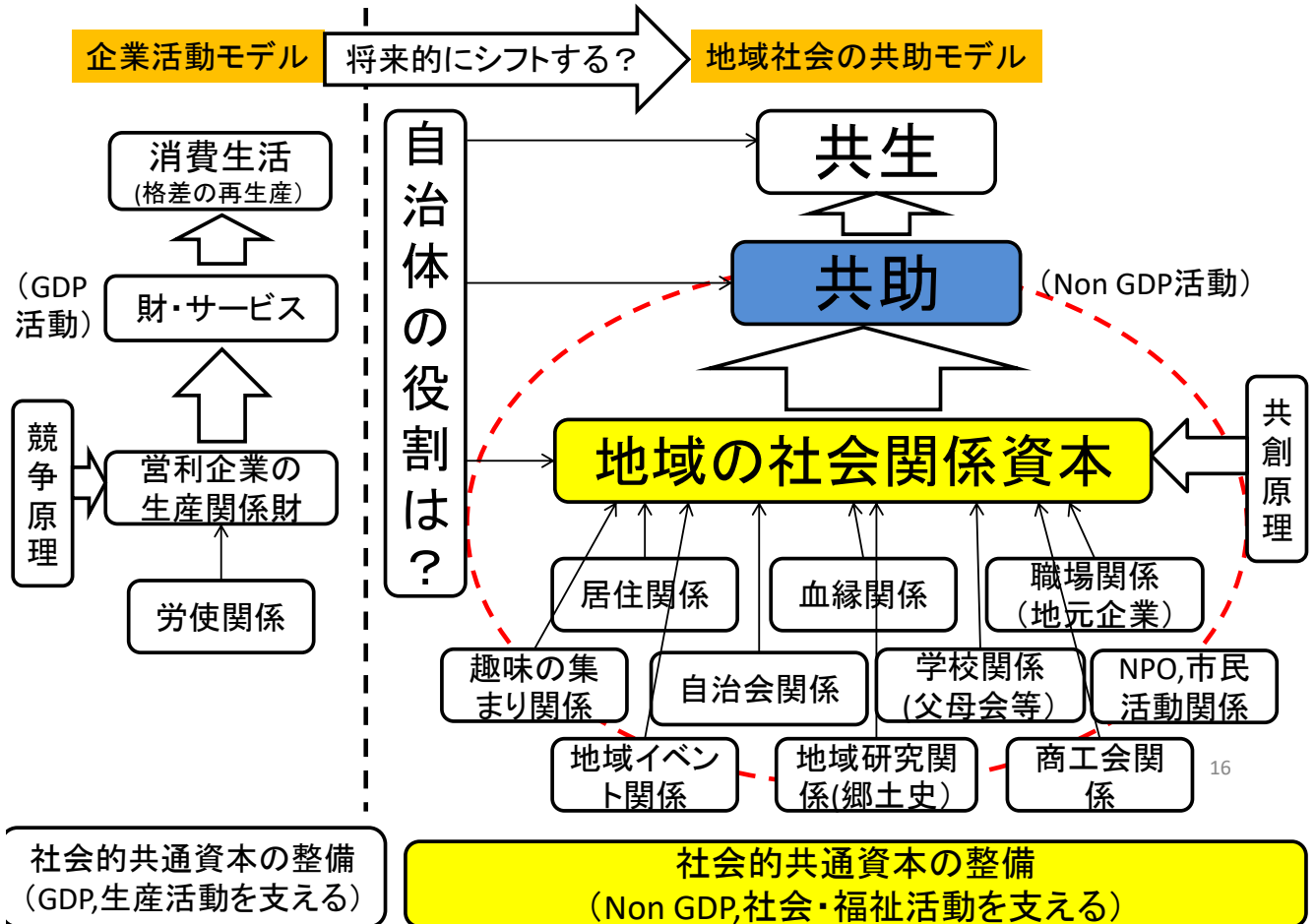
10 対 1



現在から近い将来

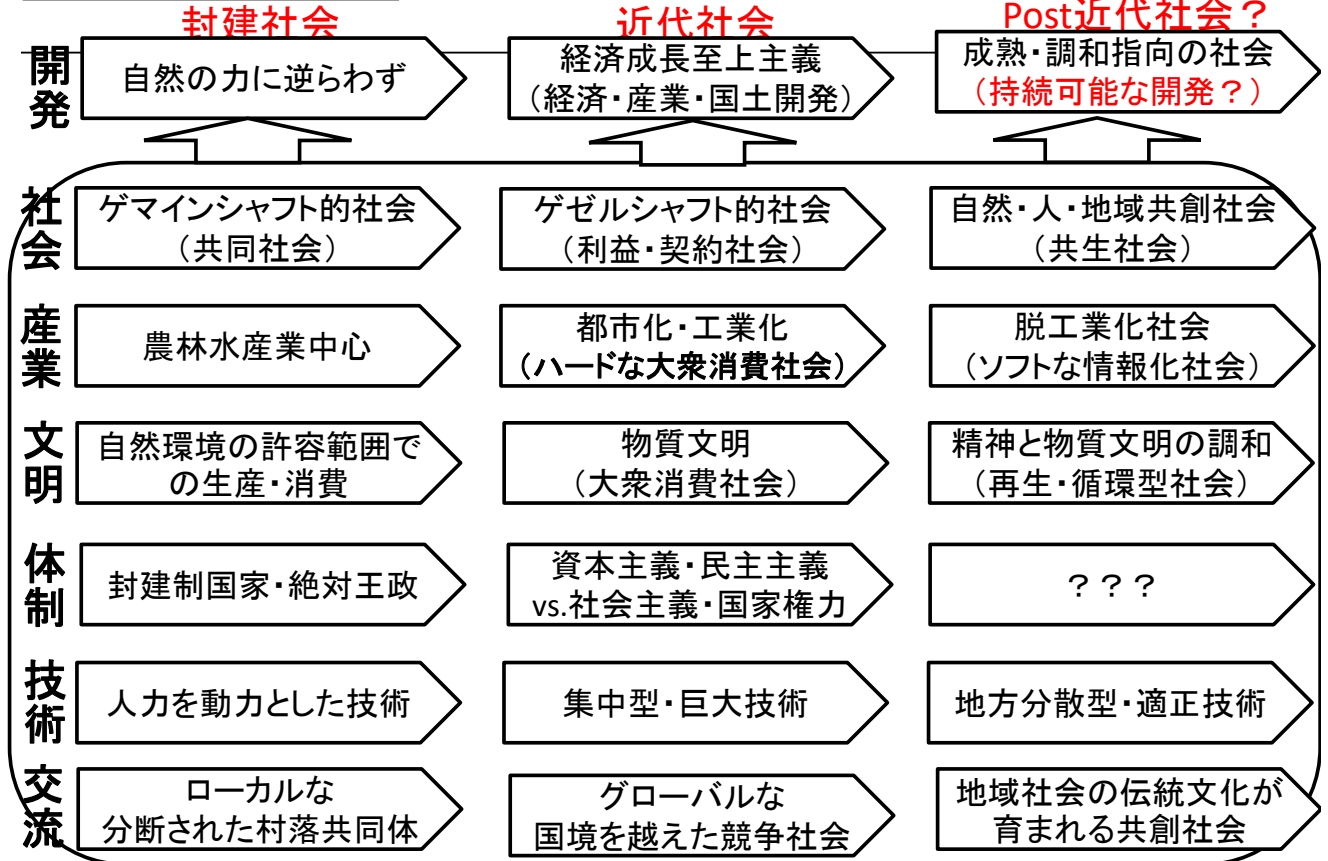
2 対 1

2-7. 社会・福祉活動を支える社会関係資本——共助



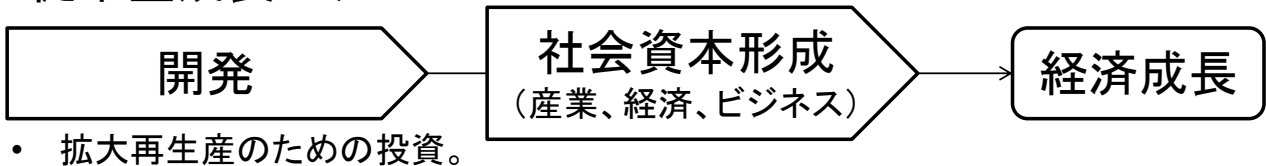
3. 持続可能な開発

3-1. 開発の質的転換： 経済成長志向の産業開発から調和のとれた社会開発へ



3-2. 従来型成長モデルから新しい社会発展モデルへ

従来型成長モデル



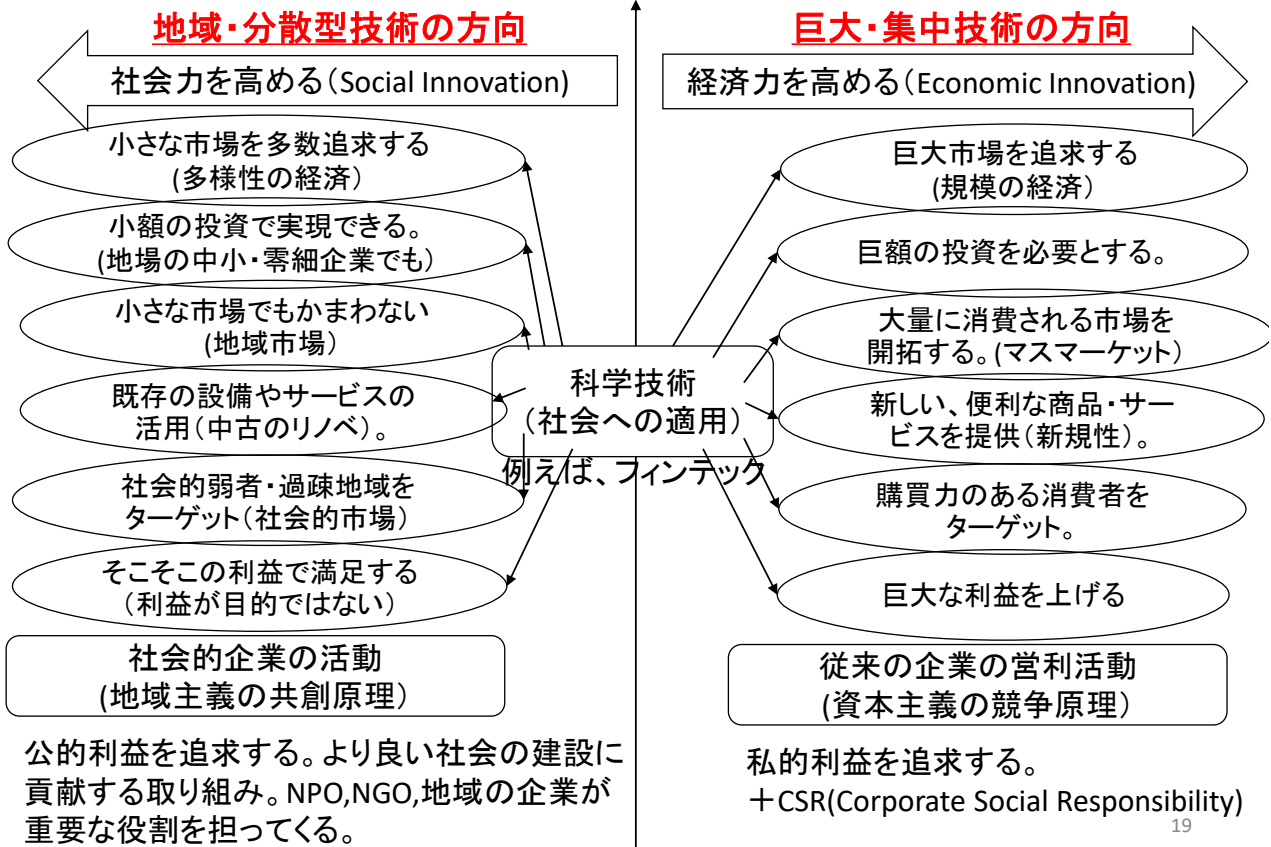
21世紀モデルへの転換

新しい社会発展モデル

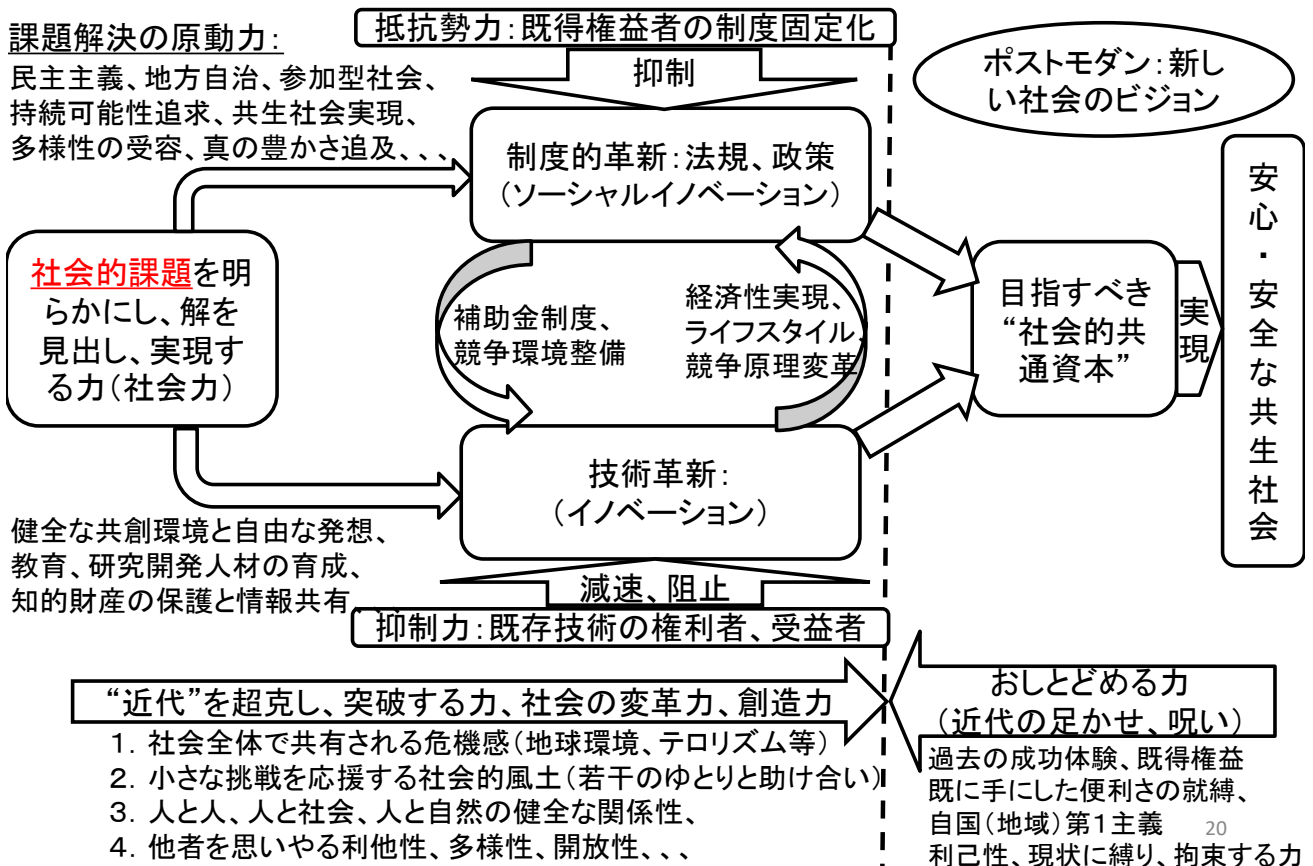


3-3. 考えるヒント； 持続可能な開発に向けての様々な取り組み

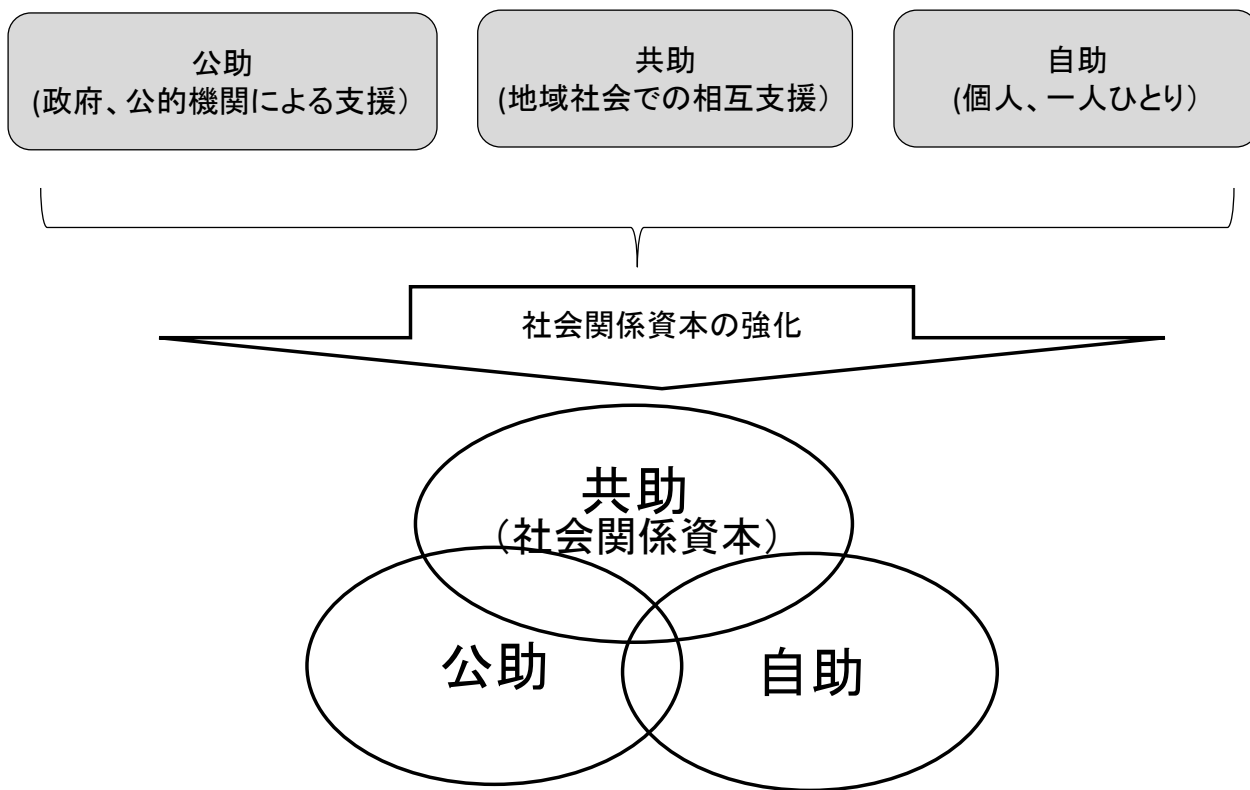
参考例1. 技術活用の方向性；



参考例2. 近代とポスト近代の力学 近代を超越するには、何が必要なのか？



参考例3. 社会関係資本の在り方：公助—共助—自助



地域社会の生活を支える公的・共的・私的サービス

いわゆる、自治体が提供する公的なサービス以外にも、地域にはたくさんの生活支援サービスや活動がある。伝統的なものから、ごく最近始まったもの、個人的なもの、組織的なものなどが混在しているが、我々は、これらのサービス活動を十分に理解し、活用しているだろうか？地域社会には、実はたくさんの利用されていない地域資源があるのではないかと？安易に経済的支援や補助を期待するのではなく、自分の地域にある未利用資源に目を向けると、いままで気づけなかった新しい地域の可能性があるのではないかと。

鎌倉市内の行政センターや、市役所、自治会配布物、新聞折り込みチラシなどから集めたもの			
	刊行物の名前	分野	発行者
1	広報かまくら	行政一般情報	鎌倉市
2	鎌倉市公共施設再編計画NEWS	公共施設利用	鎌倉市
3	鎌倉淡青会公開セミナー	社会人教育	東京大学鎌倉淡青会
4	体の衰え度チェック	健康	玉縄学習センター
5	公園サポーター養成講座	社会人教育	(公財)鎌倉市公園協会
6	市民団体と市による相互提案協働事業	市民活動	鎌倉市 地域のつながり課
7	鎌倉パートナーズ	市民活動	鎌倉市市民活動センター
8	鎌倉いち場	市民活動	鎌倉いち場実行委員会
9	教養センター 秋期 講座募集案内	教養	教養センター
10	かまくら教育	教育	鎌倉市教育センター
11	鎌倉市地域福祉懇談会 開催のお知らせ	地域福祉	鎌倉市地域福祉懇談会
12	スタディーサポートかまくら	学習支援事業	鎌倉YMCA(市の委託事業として)
13	地区社協だより	福祉	玉縄地区社会福祉協議会
14	もとめーる(藤沢、鎌倉版)	雇用情報	株式会社 イズム
15	古着。古本リサイクル市	りさいくる	NPO法人鎌倉リサイクル推進会議
16	歩け鎌倉2019	健康	鎌倉市スポーツ推進委員連絡協議会
17	かまくら共生カフェ	コミュニティー	鎌倉市地域共生課
18	アートナビ 鎌倉芸術館	文化・芸術・教養	鎌倉芸術館
19	かまくら議会だより	政治	鎌倉市議会
20	鎌倉衛生時報	健康	鎌倉市衛生協議会
21	タウンニュース 鎌倉版	情報全般	株式会社 タウンニュース社
22	たまなわ	治安	大船警察署
23	鎌倉 防災だより	防災	鎌倉市自主防災組織連合会
24	かまくら暮らしのガイドブック	生活情報全般	鎌倉市・株式会社ゼンリン
25	面白法人 カヤック 株主総会資料	共生	カヤック

参考例4. 新国富論の概念

「GDPで豊かさは測れるか？」

GDPは1年間に生産された物、サービスの総額を表すものだが、それはあくまでも国の生産規模を表す指標に過ぎない。経済成長だけでは真の豊かさ、幸せは達成できないし、逆に経済開発によって環境破壊・自然災害、健康状態の悪化など、GDPに表れない損失が社会問題となってきた。

GDPの増加だけを志向する場合、GDPに計上されない社会資本を毀損し、将来世代の幸福を犠牲にすることになりかねない。

1972年のローマクラブの『成長の限界』以来、持続可能な社会についての様々な議論が展開されてきた。

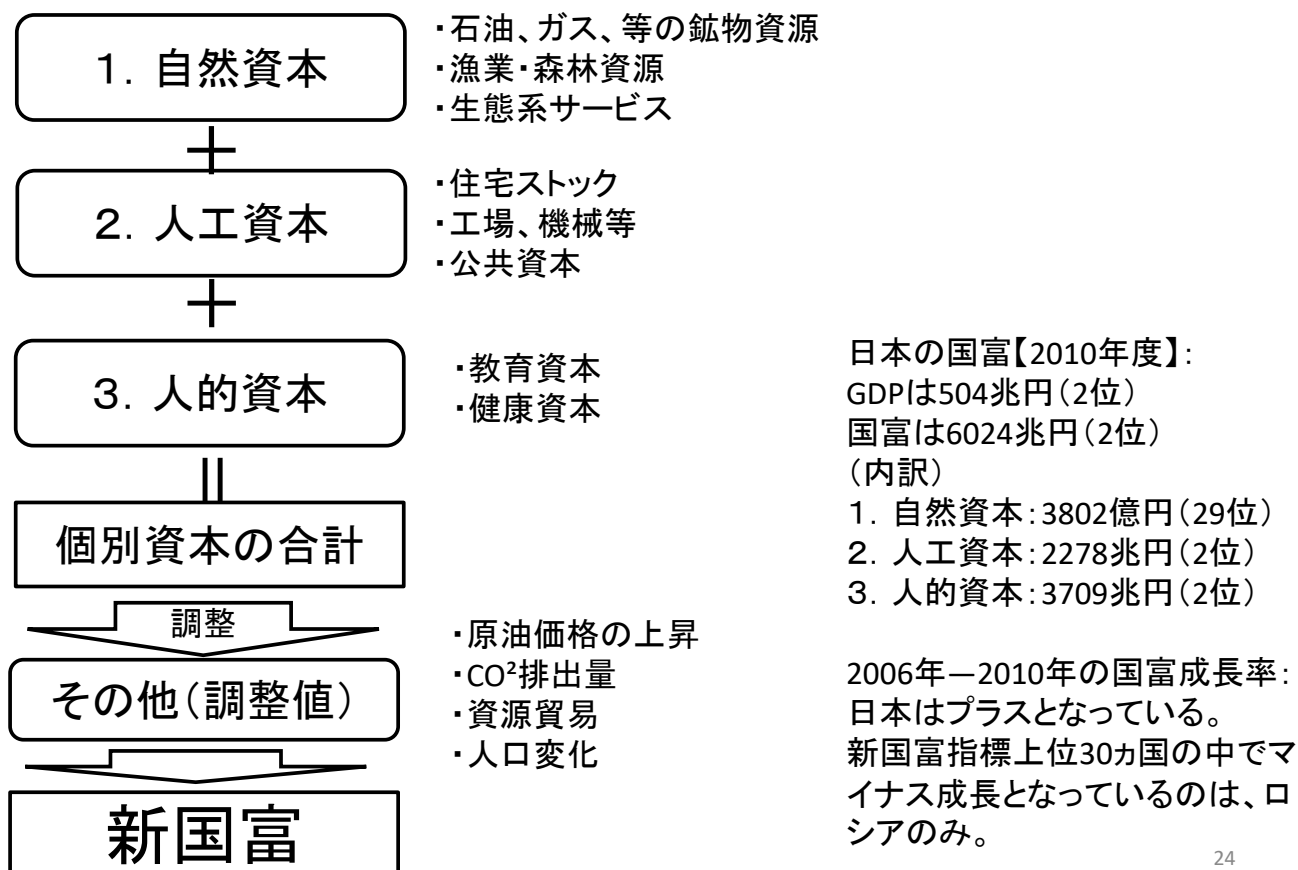
1987年のブルントラント報告では、持続可能な開発を「将来世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在世代のニーズを満たすような発展」とし、1992年のリオデジャネイロでの国連会議においては、持続可能な開発・保全のための行動計画「アジェンダ21」が採択された。

このような流れを受けて、そして、持続可能性と新国富指標との関係は、国富の大きさではなく国富の成長率(増分)によって測られる。国富が縮小していくことは将来の豊かさ、幸せを生み出す原資が減耗していることになり、持続可能性を損なっている。国富が徐々にでも増えていくことは将来の世代に対して豊かさの原資を残していることになる。

生産活動によって生み出された運用益を3つの資本群の減耗分を補い、さらに増加させる社会的投資に回すことが持続可能性を高める。

23

新国富を構成する3つの資本群



24